



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2014~2015 年度クラブテーマ
会長 石井 謙次

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1284 / 2014. 08. 08

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

●本日の例会/ 2014 年 8 月 8 日 第 1313 回

卓話：『和食をつくった「食の街道」』
フードジャーナリスト、食文化研究家、
エッセイスト 向笠 千恵子 氏

●前回報告/2014 年 8 月 1 日 第 1312 回例会

卓話：「最古にして最新たれ」
株式会社吉字屋 代表取締役社長
R I 公共イメージコーディネーター
高野 孫左エ門 氏



紹介者：穂苅裕久会員

会長報告：

今朝、菅沼会員の奥様が亡くなられました。ご冥福をお祈り申し上げます。

親睦活動委員会：(河邊委員長)

本日、暑気払いクルージングです。皆様時間厳守でお願い申し上げます。8月の火曜会はございませんが、9月2日には火曜会がございますので、皆様よろしくお願い致します。

幹事：

受付にグアム美術館の募金のお願いがあります。よろしくお願ひいたします。

慶事披露：誕生日祝い

尾関 武男 君(8月22日) / 関 陽一 君(8月27日)
秦 一成 君(8月31日)



「ロータリーライフは例会から」
Rotary Begins from the weekly meeting

8月定例理事会議事録

日時：2014 年 8 月 1 日 (金) 例会後 13:40~15:00

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京 1F 「かすみ」

出席者：西澤、田村、橋本、石井(謙)、岩上、尾関、
小林、石井(達)、河邊、村山、吉田、関、穂苅
計 13 名 (敬称略)

[決議事項]

1. R I 及び 2750 地区からの要請によるロータリーデーについては港区民まつり (10/11,12) への協賛をもって応える。
(千代田G会長幹事会について決定)
2. インターンシップの協力について社会奉仕委員会が担当する。12/10(水)~12/11(木) 2 日間、東京都立芝商業高校が対象。
3. 当クラブテーマ「ロータリーライフは例会から」に基づく卓話の充実について報告。
4. 新会員も含む会員コミュニケーションの活性にかかる火曜会、暑気払い等の報告。
5. 港区民まつりについて、当クラブ責任者、担当者は次の通りとする。責任者：吉田奉仕プロジェクト委員長、サブ：橋本サブリーダー、担当(10/11)橋本、関、田村、(10/12)野田、秦
6. 新会員報告 会員増強委員会 西澤会員より新会員候補「長谷川毅さん」の照会があり出席理事全員の承諾にて、入会が決定した。
7. 第3回クラブ協議会 (9/5 ガバナー補佐訪問) テーマ「例会について」詳細を検討。意見：当クラブ例会は、他クラブにはない一流ピアニストの泉さんの生演奏が象徴である。他クラブは、ロータリーソングを歌うときもテープで対応し、BGMは特に流さない、または会場が用意してくれたものを使っていが、当クラブは泉さんの素晴らしいピアノで歌を歌い、卓話までの間生演奏が聞ける。これは赤坂RCの売りである。(吉田、岩上、西澤、河邊、石井(謙)、尾関)
8. 今年度予算書の提出と財政、積立金等について会計の村山会員から報告。

出席報告：会員 39 名 / 出席 27 名 欠席 12 名

ゲスト：高野孫左エ門(卓話)、長谷川毅

ビジター：阿部義彦 (東京六本木RC)

計 3 名 (順不同・敬称略)

「あなたはなぜロータリアン？」

「あなたはなぜロータリアン？」

こんな質問をされたら、皆さまはどのように答えますか。「立派なロータリアンを見て、憧れていたから」とか、「ロータリアンが奉仕をする姿を見て、自分も仲間に入りたいと思ったから」という方が多いことを願っていますが、「取引先の人に言われて仕方なく……」とか、「先輩に言われて断われなかつたから」などというのが入会の理由、という人も多いかもしれません。

消極的な理由で入会した場合、入会して数か月では、「毎週の例会に出席するのが大変」「どこが楽しいのかわからない」という人も少なくないかもしれません。

「そろそろやめたくなってきた」。そんなことは言わないでください。1年、2年たち、クラブの例会出席を重ねるうちに良い友人ができ、いろいろ教えてくれる先輩ができ、例会に出席するのが楽しみになってきます。クラブの例会時間に合わせて仕事を調整し、例会に出席することが、それほど難しいことではなくなってくるはずです。

クラブの奉仕活動に参加し、仲間たちとともに活動をすることによって、お互いに本当に良い仲間だと思えるようになるでしょう。自分たちが手を差し伸べた人々の笑顔を見て、「ありがとう」という言葉を聞いて、自分がその人たちにあげたものより、その人たちからもらったものの方が、ずいぶん多いと気づくかもしれません。

国際大会に参加すれば、世界中に友人や仲間がいることがわかります。外国のロータリアンたちと、国や言葉の壁を乗り越えて親しくなることができます。世界中のいろいろな所で、多くのロータリアンたちが、自分と同じように活動をしていることを知ることができます。

その時、「ロータリアンで良かった」と思うことでしょう。国際ロータリー（R I）会長の田中作次氏は、「ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験があるかと思います。これを、『ロータリー・メント（心に残るロータリーの体験）』と呼ぶ人もいます」と述べています。感動する出来事は、人それぞれです。しかし、何か一つでも、そしてそれがどんなにささやかな出来事でも、何か感動体験を持っているからこそ、「あなたはロータリアン」であるはずだと、田中R I会長はおっしゃりたいのかもしれません。

ロータリークラブに入会するのは、「仕方なく……」という消極的な理由であったとしても、そこで活動を続けていくうちに、「あなたはなぜロータリアン？」という質問に対する積極的な答えを見いだせることでしょう。ロータリークラブに入った理由と、ロータリアンであり続ける理由が違う場合も少なくないと思います。

『ロータリーの友』では、田中R I会長の呼びかに応えて、昨年9月号から「ロータリー・メント（心に残るロータリーの体験）」というコーナーを設けま

した。ここには、「ロータリアンで良かった」と思った、その瞬間にについて、多くの人が寄稿してくださっています。

さて、皆さまの「ロータリー・メント」はどのようなものでしょうか。「そんなこと考えたことがなかつた」という方も、この機会にぜひ一度、考えてみてください。考えて、「そんなもの見つからなかつた」という方は、例会で先輩会員に声をかけてみてください。クラブの奉仕活動に参加してみてください。ほかのクラブの例会に出席してみてください。地区大会や国際大会に参加してみてください。近い将来、必ず自分自身の「ロータリー・メント」ができると思います。

そして、その時、「あなたはなぜロータリアン？」という質問の答えが見つかっているはずです。

編集長 二神 典子
『ロータリーの友』2013年5月号
「はじめる一歩」より



8月 1日(金) / 11件 22,000円
累計142,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

石井謙次/高野様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。金山さんお子さんお誕生おめでとうございます。小林博茂/なれない幹事で1か月が過ぎました。いたらぬことの数々。ご勘弁を。尾関武男/お誕生日をお祝いして頂きありがとうございます。又、今日は納涼クルージングお世話になります。穂苅裕久/高野さん、本日の卓話どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。西澤民夫/長谷川さん、楽しみにしています。小原健/胆石を摘出しました。思わざる開腹手術となり苦労させられました。やはり、お腹を裂くのは痛いです。石はたった3ミリです。やや複雑な気分です。でも、ともかく無事に帰ってきました。清水實/本日より受付には私どものコンサートのちらしを置かせてもらっています。入場料と書いてありますが、来られる方には差し上げます。石井達/残念ながら今日のクルージングに参加できませんが、みなさまお楽しみください。土屋東一/秦さんニコニコご苦労さまです。魏芝/今日のクルージング楽しみにしています。秦一成/誕生日お祝い頂き大変ありがとうございます。

●次回予告/ 2014年8月22日 第1314例会
卓話予定: 歴史小説家 加来耕三氏

※ 8月15日(金)は、休会です。